

# サポクラ 通信

令和4年(2022年)1月号

今月の内容は...

- ・ライオンの特徴 .....1
- ・アメリカビーバーの近況報告 .....3
- ・レイト(令斗)のチカゴロまで .....7
- ・チンパンジーの小展示場での過ごし方 .....10



## 新年あけましておめでとうございます

今年は寅年ですね！

トラと同じくネコ科であるライオンは、実は他のネコ科に見られない特徴を持つ動物です。  
今回はそんな特徴に注目してご紹介させていただきたいと思います。



### オスとメスで容姿が違う

成熟したオスには頭全体、首、肩、胸の上部を覆う金色から黒色のたてがみが生えています。

オス同士の闘争は、群れを守るために、場合によっては死に至るほど激しいものとなります。その際に、たてがみの長さや色はオスの群れを守る能力について示し、相手を威嚇するためや、首への攻撃から身を守るために役立つと考えられています。

また、メスはこのたてがみが長く濃いほどそのオスを選ぶ傾向が高いという報告もされています。



旧熱帯館時代のリッキーとティモン





## 群れをつくる

性別や世代の異なる大規模なプライドという集団を作ります。基本的に血縁関係にあるメスの集団に、他の集団のオスが加わり形成され、その大きさは数頭から大きいものでは40~50頭にもなります。メスは通常、生涯同じプライドにとどまりますが、グループ内の小規模のメンバーの出入りや、プライドの他のオスによる乗っ取り、あるいは近縁にあるライオンとの交配を避ける目的でプライドを離れることがあります。

また、生まれたオスは基本的に2~3年経つとプライドを離れるか追放されます。その際に同じく離れたオス同士や、途中で見つけた血縁関係のないオス同士で仲間になり放浪した後、新たなプライドを作っていきます。このオス同士は生涯行動を共にし、血縁に関係なく強い絆で結ばれています。

ライオンはこうした社会性を持つことで、野生下でうまく生き抜くための術を身に付けてきました。

## オリッキーについて

現在、円山動物園では、19歳になるリッキーを飼育しています。19歳というと、ライオンではかなりの高齢になります。最近では食欲が落ち、行動量も少なくなってきたリッキーですが、少しでも良い暮らしをしてもらうために、様々な工夫を行っています。今回はその中からいくつか紹介したいと思います。

### ・餌の工夫

今まで食べていた餌もその時によって食べなくなるときが多くなりました。そのため、日ごろから多くの種類を用意して食の幅を増やし、その時の餌の嗜好性に合わせて給餌しています。また、同じ餌でも切る厚さ、脂身があるかないか、表面の乾燥度などやあげるタイミングなどによっても採餌量が変わっていくため、日々一番いい状態で給餌できるよう気を付けていま



鶏頭



ラム



牛バラ



鶏もも

<給餌してみた中の一例>

### ・体重測定

見た目だけでは分からない細かい体重の変化を知ること、日々の体調の変化や適切な投薬量の指標にでき、適正な健康管理に繋げることができます。また、体重計の上に乗ってもらい給餌をしながら計測するため、動物に麻酔をかけて体重を測るなどの負担をかけずに行うことができます。



←体重測定の様子

リッキーが健康でより良い暮らしができるよう追求し続けていくとともに、多くの人に動物について深く知ってもらえるきっかけになるよう努めていきたいと思っています。

2022年も円山動物園の動物共々どうぞよろしくお願いいたします。

ライオン・ハイエナ担当 佐々木

## ～アメリカビーバーの近況報告～

**サポートクラブの皆様、あけましておめでとうございます。**

**去年の秋から引き続きヒツジと、新しくアメリカビーバー、鶏舎を担当させていただくことになりました。こども動物園担当の幸坂です。**

**毎日厳しい寒さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。**

**こども動物園では、悪天候時を除き冬でも関係なくヒツジたちは外で暮らしています。ヒツジたちはこの寒さの中でもこの体毛のおかげで寒く感じることはありません。**

**今回は、そんなヒツジについての話ではなく、新しく担当となったアメリカビーバーの近況報告をしたいと思います。**



## ～アメリカビーバーの近況報告～



### ～個体紹介～

現在、円山動物園では、アメリカビーバーのタンポポ（♀）がこども動物園内、ビーバーの森にて飼育されています。昨年の夏、クロ（♂）が亡くなってしまいタンポポ1頭のみとなってしまいました。

アメリカビーバーの飼育下での寿命は20～25年といわれており、今年でタンポポも22歳となる高齢個体です。

そんなタンポポですが、高齢に見えないほど元気にプールで泳ぐ姿を見せてくれており、プール清掃中には立ち上がって餌を要求するほど食欲も旺盛です。

サツマイモが好物で、まず初めに好物から食べ始めます。夏には園内に生えているヤナギの木を与え器用に皮や枝を食べている姿を確認できます。



## ～アメリカビーバーの近況報告～

### ～高齢ビーバーの寒さ対策～

そんなタンポポですが、最近では気温が下がり鼻水が出ている日が多くなってきました。元々、北米に生息している動物で寒さに耐性のあるアメリカビーバーですが、高齢のタンポポは寒さへの耐性が低下してきているようです。そこで、体を暖められるよう獣舎内にヒーターを設置しました。タンポポが、厳しい北海道の冬を越せるよう引き続き尽力していきたいと思っております。



### ～タンポポの巣作り～

普段、展示側からは見ることができない巣の内部を紹介します。

野生のビーバーは、木材をかみ砕いてチップや小枝をベッドの材料として利用しますが、現在飼育されているアメリカビーバーのタンポポは、高齢により自力でベッドを作ることができないため、担当者が木材で組んだ巣の中に乾草を敷き詰めて巣を作っています。

気に入らないと、木材の位置を変えたり、乾草を外に押し出したりと、巣作りへのこだわりが強く、タンポポから巣作りについてご指導いただいております。



普段は、ここで丸まって寝ています。

## ～アメリカビーバーの近況報告～



このように太い丸太は、えんぴつを削るのようにして齧っていきます。巣作りの本能は残っているようで、高齢ですがまだまだ元気です！

### 【終わりに】

現在こども動物園の鶏舎は、国内で鳥インフルエンザ発生のため閉鎖中ですが、ビーバー、ヒツジ、ニワトリたちの元気な姿を見ていただけるように尽くしてまいりたいと思います。今年も円山動物園、こども動物園をよろしく願いいたします。



## レイト(令斗)のチカゴロまで

円山動物園サポートクラブの皆様、こんにちは。

新年最初となる3班からのお便りでは、新獣舎の建設にともなって一時的に当園動物病院内の仮獣舎に移動して過ごしているボルネオオランウータンのレイト(もうすぐ2才!)にスポットを当ててお伝えしたいと思います。

昨年7月に母親のレンボーと一緒に住み慣れた旧「類人猿館」を離れて仮住まいに引っ越して来たレイトくん。

あっという間に半年が過ぎましたが、その間の彼の成長を振り返ってみたいと思います。

### お引っ越し

お父さんの弟路郎が釧路市動物園に移動してから50日後(2021年7月14日)のレイトくん・・・明日はレイトがお引っ越し。



生まれて1年半で大きな環境の変化を経験することになるんだね。

頼りになるお母さんのレンボーと一緒にだから移動も大丈夫かな

って、あの頃は期待と不安が交錯していました。

移動当日、移動檻に入るのはレンボーにおんぶされてすんなりと成功して、無事に動物病院の仮獣舎に到着。

さあ、新しい環境は気に入ってくれるかな？



到着後もしばらくお母さんの背中にぴったりおんぶされて、ビックリしている様子。

これは慣れるのに相当時間がかかるかなあって思っていた矢先・・・



レンボーが室内を1時間くらいかけて入念に探索してから少ししてからでした。

背中からそーっと離れてお母さんのまねっこ探索開始。

お母さんと全く同じルートを同じ順番で一人で回ってお部屋をチェック。

壁を右手のこぶしでたたいた場所や回数まで完コピだね

・・・今度はこっちがビックリでした！

## はじめてのベッド

住まいが変わるといふ劇的な状況がレイトにどのような影響をもたらすか、緊張の毎日でした。

幼いレイトが元気であるためには、母親のレンボーが元気であることが大前提となります。レンボーが大丈夫なら大丈夫。



移動して来てから1週間が過ぎたころ、少しずつ慣れて来たかなあと思っていたのですが、逆に溜まっていた疲れやストレスが徐々に表に現れてきたのでした・・・レンボーに。

2頭とも食欲は旺盛。

ただ、レンボーが時々イライラしていたりしていて、そのうち軟便が続くようになったのでした。



寄付としていただいたブランケットやフィーダーを日替わりで渡してみたり、熱帯鳥類館のバナナの木を丸ごと入れてみたり。

絶対に刺激の少ない飼育環境でわずかでも変化をつけながら、環境に適應してくれるのを切に願うのでした。

そうしながら過ごしていた8月初旬・・・

!!!



べ、ベッドにレイト!?



驚きました。

野生でオランウータンが木の上で寝る時に枝葉を使って作るベッド(巣)を、レイトが初めて自分で作ってその中で休んでいたのです。この時まだ1才半です。

飼育下では疑似的に作れるよう巣材として麻袋やホースなどを与えます。

レンボーがなかなか環境に慣れていない様子が見られていた中でも、レイトはしっかりと成長していたんです。

人もそうですが、子どもの方が適応能力は高いのだなと感じました。

また、レイトの兄のハヤトが、とべ動物園に移動した時にも感じたのですが、幼体は大きな環境変化の後に劇的に成長することを肌で感じました。

## チカゴロのレイト

・・・このペースでお伝えしているとまだまだ終わらないので、最後に最近の様子をまとめてお写真でお伝えします。

順調に成長してくれていて、

母子ともにとっても元気になっています！



ハンモックや木の上でひとりでゆったり過ごす時間も増えてきました。

タマリンドも食べられるように。

でもやっぱりお母さんと一緒にです。(了)



円山動物園とオランウータンを  
応援してくださる皆様へ

新年早々、気になるニュースが流れました。インドネシアで首都移転の根拠となる法案が成立し、ボルネオ島への2045年移転完了に向けて、いよいよ動き出すとのこと。この事柄に対し関心をもって見ていく必要があるようです。

最後に当園へのご理解、ご協力とオランウータンたちへの多くのご支援に心より感謝申し上げます。

本年もよろしくお願いいいたします。

(李)

## チンパンジーの小展示場での過ごし方

こんにちはチンパンジー担当の河西です。

チンパンジー館のチンパンジーは、普段大展示場で生活していますが、朝、飼育員がチンパンジー館に行くと、掃除と給餌の準備をするために大展示場から小展示場に移動してもらうことになります。

夏場は外放飼場に移動してもらうのですが、冬場は扉を開けても雪と寒さのためすぐ室内に戻ってきます。そのため小展示場とバックヤード寝室へつながる扉を開放しています。



小展示場に出す前に、滞在中、暇にならないように餌をセットします。

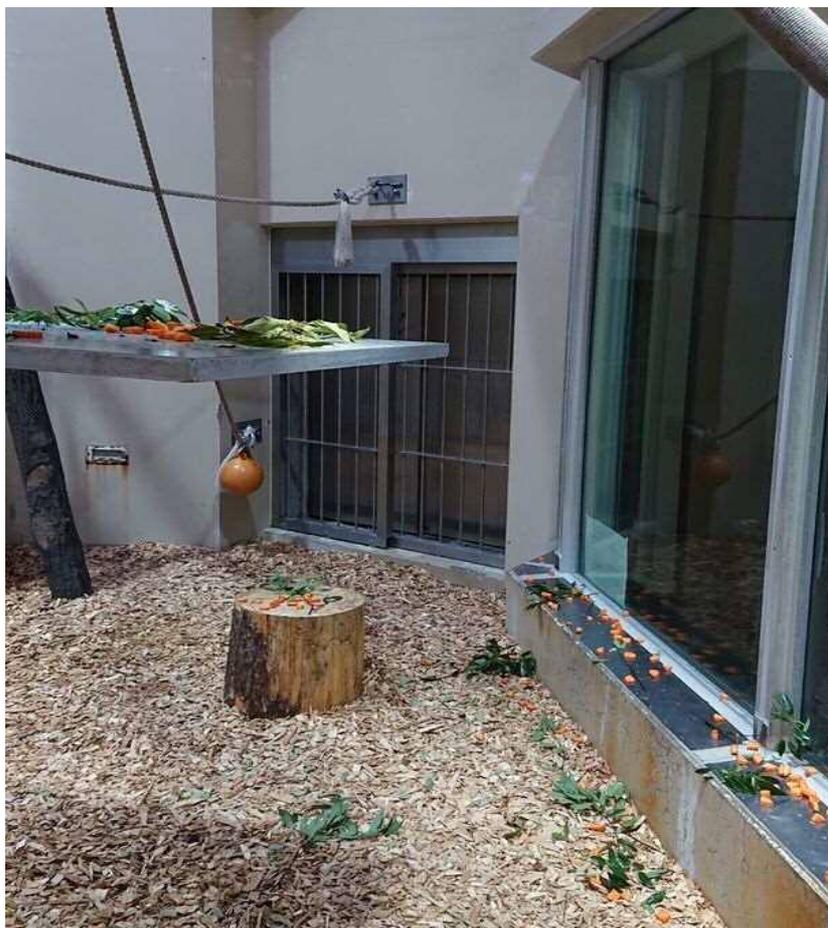
消防ホースを編んだフィーダーに午前中は人参、午後はサツマイモを差し込みます。

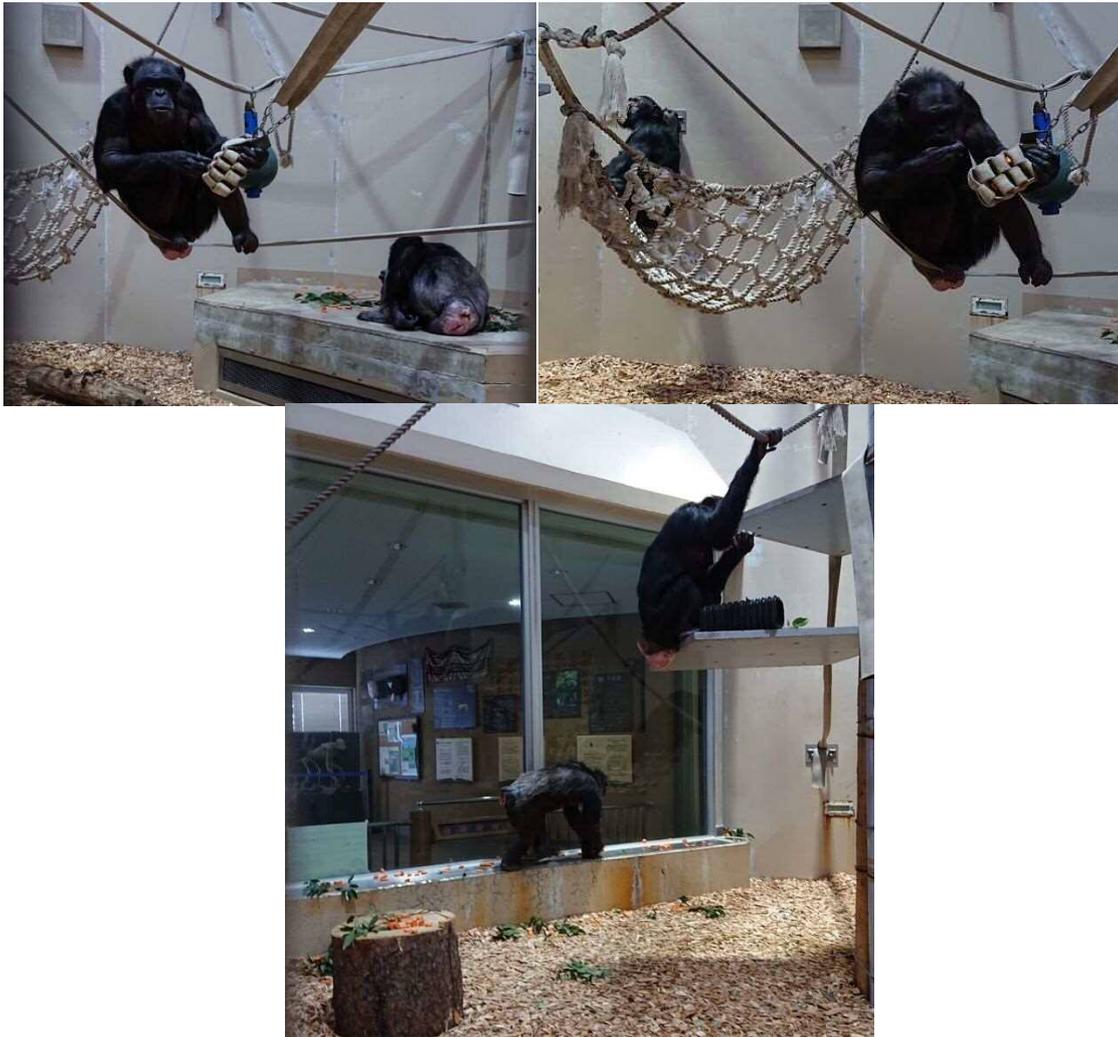


浮き球の中にはペレットや炒った大豆を入れていますが、簡単には取り出せないように塩ビ管パイプと組み合わせて使用しています。



最後に全体的に人参とペレットを撒いて、白樫の枝をセットすると準備完了です。





大展示場と小展示場の入れ替えは、通常、午前・午後で各2回、計1日4回の移動を行っています。

日によって変動はありますが、現在概ね以下の時間でチンパンジーが見られる場所が変わります。

- ・開園から10:30~11:00頃まで 小展示場
- ・10:30~11:00頃から13:00~13:30頃まで 大展示場
- ・13:00~13:30頃から14:30~15:00頃まで 小展示場
- ・14:30~15:00頃から朝まで 大展示場

機会があればぜひ小展示場で過ごしている姿もご覧ください。